

佐渡×世界農業遺産、佐渡から世界へ発信プロジェクト



トキ



佐渡市認証米 朱鷺と暮らす



佐渡の郷土芸能 鬼太鼓



田んぼ生きもの調査



佐渡の放牧風景



佐渡の棚田（小倉千枚田）

ミッション名： GIAHS の魅力発信と次世代継承プロジェクト

着任地域： GIAHS 協議会事務局（佐渡市役所農業政策課内）

○着任地域紹介

新潟県にある佐渡島は「日本の縮図」といわれるほど多様性に富んだ島です。

「トキとの共生」を目指す佐渡では、田んぼの生態系に配慮した生きものを育む農法が行われており、また、棚田などの美しい景観が保全されていることや昔から受け継がれている伝統的な農文化が継承されていることが評価され、平成 23 年に日本初となる世界農業遺産 (GIAHS) 「トキと共生する佐渡の里山」に認定されました。

世界農業遺産は、環境の変化に適応しながら先祖代々受け継がれてきた食料の生産システムを認定するもので、単に農法や土地利用だけではなく、生態系・景観・習慣なども含めて地域資源として次世代へ継承することを目指すものです。

こうした世界農業遺産の魅力をより多くの方々に伝え、地域のみなさんと一緒にになって次世代につなげていく活動に参加してみませんか？

四季折々に美しい棚田の風景、島ならではの文化と食、そしてあたたかな人々との出会いが、あなたを待っています。

(世話人)

佐渡市農業政策課職員が 3 年間お世話をします。

○解決したい課題、事業ミッション

【課題 1】

耕作放棄地及び離農者の増加と地域の価値をつなぐコーディネート役が不在である。

【活動 1】

- ①離農者を減少させるための仕組みづくり及び棚田や畑等の受入れ農業者との連携により就農体験プログラムや就農体験ツアープログラムを作成し、希望者の受入れを含むコーディネート業務を行う。
- ②農村漁村・中山間地域の農業者との交流・協働作業を通し、各地域の暮らしや農文化を継承するための情報発信を行う。合わせて、地域活性化の観点から地域で行われる様々なコンテンツに関する地域活動への協力をを行う。

【課題 2】

市民、企業ともにジアスの認知度が低いため、「無形の遺産」を未来につなげるため農業以外とのマッチングをコーディネートする必要性がある。

【活動 2】

- ①小中学校や佐渡市SDGsパートナー企業、市内観光業の従事者へのジアスをテーマとした授業・教材を企画し、ジアスの認知度の向上を図る。
- ②SNS等により定期的なジアスをテーマにした実施事業の情報発信を行う。
- ③ジアスの認知度を広げる観点から、大学ゼミやNPOとの協働により調査・実践型フィールドワークを実施、情報発信を行う。

○3年後の目指す姿

協力隊員：体験型観光事業との連携による就農体験希望者と受入れ農家とのコーディネート業務や関係性を構築した地域での就農により生活基盤を作ることを目指す。

地域：世界農業遺産に関する認知度が向上し、食料生産システムの継続と農文化の継承に関する意識が醸成されることを目指す。

○協力隊に求めるスキル（人物像）

- ・ジアスをテーマにした観光体験や教育プログラムに興味がある方
- ・地域の伝統的な農業や農文化の継承活動に興味がある方
- ・世界農業遺産の魅力や意義を分かりやすく発信（動画制作・SNS運用等）できる方
- ・地域、学校、企業等とのネットワークづくり、交流に興味がある方